

地方創生推進交付金等の令和5年度実績について

No.	交付金 対象事業名	事業概要(目的)	事業内容(経費内訳)	事業費及び交付金充当額	重要事業評価指標		
					評価指標	目標値(R6.3)	実績値(R6.3)
1	世界最大級『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業 ＜推進タイプ＞	世界最大級の『鳴門の渦潮』を核とした観光エリアのブランディングを行い、これまで通過型の観光地であった鳴門・南あわじ両市において、若者や外国人観光客の誘客増加を図るとともに、長期滞在型の観光を誘発させることにより、観光消費額、ひいては宿泊単価率を上昇させる。また地域の観光事業者とともに商品開発を行い、稼ぐ仕組みを作り出すことにより、持続可能な地域づくりを目指す。	(1)ソフト事業（委託料）18,500千円 ①サイクリスト向けに「カップイングルメ」の開発 ②2市の特産食材を使った「新・ご当地料理 うずの幸グルメ」第三弾の開発 ③「うずしおぐるぐる」ホームページによる情報発信 ④観光体験プログラム勉強会、インバウンド受入勉強会及びショートムービー作成セミナーの開催 (2)ハード事業（委託料）1,683千円 ①鳴門公園周辺地域への多言語案内標識及び誘導看板の設置	事業費: 20,183千円 交付金充当額: 10,091千円	①両市が新たに作成・造成を行った商品・サービスの売上高 ②両市の宿泊施設における宿泊単価上昇率	①44,000千円 ②前年度比10%増	①58,345千円 ②前年度比6%増
2	イーストとくしまDMOニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現 ＜推進タイプ＞	徳島県東部地域15市町村及び民間事業者が連携し、圏域外からの「外貨」の獲得と地域住民の活躍の場を創出できる“観光”を経済施策として捉え、観光コンテンツを魅力あるビジネスに成長させ、旅行者等による交流人口の拡大を図ることで、「訪れてよし」「住んでよし」の観光地域づくりを推進し、圏域経済を好循環させる仕組みを構築することにより、自立的で持続可能な観光地域づくりを目指す。	(負担金) 2,225千円 ①ファム・メディアツアーや展示会・商談会の実施 ②Facebook、instagram、X等を活用した観光スポットや体験型観光コンテンツにかかる情報発信 ③観光業界の著名人によるセミナー開催 ④住民の観光に関する意識調査の実施 ⑤宿泊・観光施設が実施する高付加価値化改修工事に補助金を交付(国交付金の活用) ⑥スマホアプリ「しこくるり」を活用した、観光客の位置情報などのデータ蓄積	事業費: 2,225千円 交付金充当額: 755千円	①徳島東部圏域ひとり当たり観光消費額 ②徳島東部圏域の延べ宿泊者数 ③徳島東部圏域の来訪者満足度 ④徳島東部圏域の住民満足度	①前年度比3千円増 ②前年度比3万人増 ③前年度比1%増 ④前年度比1%増	①前年度比2千円減 ②前年度比40.1万人増 ③前年度比0.7%増 ④前年度比2.7%増
3	3つの徳島県・地域連携DMOが協働する観光振興プログラム ＜推進タイプ＞	関西を主要ターゲットに昨今高まっているマイクロツーリズム・ニーズを獲得するとともに、県内3DMOと連携して低迷している周遊・滞在型観光を促進する。 また、徳島ならではの観光資源の魅力発信やコンテンツ開発を行うとともに、国際観光の再開を見据えて戦略的にプロモーションを展開することで、観光振興を強力に推進していく。	(委託料) 2,794千円 ①鳴門市観光公式instagramの開設及び情報発信の実施 ②海外向けインフルエンサーによる情報発信の実施	事業費: 2,794千円 交付金充当額: 1,397千円	①宿泊旅行による旅行消費額(県内) ②客室稼働率(県内) ③観光情報サイト総アクセス件数	①前年度比202.11億円増 ②前年度比6.11%増 ③前年度比128万件増	①前年度比194.8億円減 ②前年度比9.5%増 ③前年度比291万件減

No.	交付金 対象事業名	事業概要(目的)	事業内容(経費内訳)	事業費及び交付金充当額	重要事業評価指標		
					評価指標	目標値(R6.3)	実績値(R6.3)
4	なると満喫アクティビティ事業～寄りた い！泊まりた い！また行き たい！なると City～ 〈推進タイプ〉	大鳴門橋自転車道の完成を見据え、地域の観光事業者などと連携し、サイクリングに楽しさをプラスする取り組みとして、市内に点在しているアクティビティを整理・整備し、鳴門ならではの魅力を有効活用したアクティビティを観光コンテンツとして磨き上げることで、新たな来訪者の取り込みや滞在の長期化、リピーターの増加に繋げる。	1. コンテンツ調査及び企画事業 4,000千円 鳴門市内に点在するアクティビティの情報集約や、トレイルランニングやパークヨガなどの新アクティビティの可能性調査等を行った。 2. 人材育成事業及びイベント運営 3,000千円 新アクティビティを実施するインストラクター等のリクルーティング及び人材育成・研修を実施し、安全管理マニュアル等を作成した。また、新アクティビティの効果検証イベント及びニーズ調査を行い、新アクティビティ開発に繋げた。 3. プロモーションサイト整備事業 2,900千円 コンテンツ調査を踏まえ、本市のアクティビティ情報を発信するプロモーションサイト「なるととりーと」を構築した。 	事業費:9,900千円 交付金充当額:4,950千円	①観光入込客数 ②外国人観光客入込数	①20万人増 ②2万人増	①206万人増 ②5.1万人増
5	道の駅「くるくるなると」における交流拠点施設整備事業 〈拠点整備タイプ〉	神戸淡路自動車道、徳島自動車道、高松自動車道の3つのICに近接し、1日当たり約4万台の交通量のある国道11号沿いという「好立地の場所」に交流拠点施設を整備し、道の駅として登録する。こうした取り組みを通じて外部からの誘客を促進させ、地域の消費拡大を促し、地域活性化を促進する。 また、本施設が「食のテーマパーク」として、若い世代や女性に訴求することも念頭に置いたオリジナル商品の開発と豊富な品揃えを行うことで、来訪者自身がSNS等で自然とPRや共有し、話題性を複層的に提供し、若い世代等の本施設への目的地化の実現に繋げ、「まち」の賑わいを創出し、まちの魅力度向上を図る。	令和3年度に施設の建築工事に着手し、物産館、産直レストラン、カフェ、パン売り場、キッズルーム、体験交流研修室、情報発信施設等の整備を完了し、令和4年4月29日に開駅した。 	- ※交付金活用は令和3年度のみ	①本施設の売上額 ②本施設の新聞・メディアへの掲載件数 ③「地域ブランド調査」(ブランド総合研究所公表)の産品購入意欲度調査における「あなたは以下の地域において購入したい商品がありますか?」という問いに対する「具体的にある」と回答した回答者の割合	①5億8千万円 ②16回 ③0.8%	①19億円 ②70回 ③ー ※「地域ブランド調査」において、当該調査項目が割愛